

設立趣旨書

1 趣旨

近年、様々なスポーツにおいて世界的に活躍する日本人が増えています。一方で、学生時代の怪我や病気を原因として、アスリートとしての活動を断念せざるを得ない子どもたちも多くいます。しかし、リハビリテーションなど、医療分野においては怪我や病気を日常生活レベルまで復帰させることが目標であり、アスリートとしてスポーツの最前線へと帰還させることは主たる目的ではありません。

本団体は、そうした背景を受け、子どもたちが怪我をしにくい身体作りや、怪我や病気のため部活動などを中断した子どもたちをアスリートとしてスポーツの場に戻すことなどを目的とした活動を行います。このために心理カウンセリングと身体トレーニングの両機能を持った団体として、子どもたちをサポートしていきたいと考えています。

今回、法人として申請するに至ったのは、上記の活動を地域に定着させ継続的に推進していくこと、他地域の行政や関連団体との連携を深めていく必要があることなどの観点から、社会的に認められた公的な組織にしていけることが最良の策であると考えたからです。

法人化することによって、組織を発展、確立することができ、将来的に日本全体の子どもたちの支援が展開できるようになり、社会に広く貢献できると考えます。

また、非営利法人の形態を取る理由として、参加メンバーの中に小学校教員など、一般社団法人やその他の営利団体では副業扱いとなり参加できないものが多く、そのため非営利法人として設立を目指した。

2 申請に至るまでの経過

令和 6 年 6 月 同じ目的を持つメンバーによる NPO 法人格取得についての意思確認

令和 6 年 9 月 法人設立総会開催

特定非営利活動法人 Building and Returning
設立代表者 文原 望